

## 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：保安対策費

## 事業名 県高圧ガス地域防災協議会補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防課 予防保安係 電話番号：058-272-1111(内2886)

E-mail：c11193@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 100 千円 (前年度予算額： 100 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	100	0	0	100	0	0	0	0	0
要求額	100	0	0	100	0	0	0	0	0
決定額									

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

高圧ガスは、県民生活及び産業活動のエネルギー源として不可欠のものとなっている。しかし、その反面、事故が発生すると大きな災害をもたらす恐れがあることから、事故防止対策の確立が急務である。

そのため、昭和46年度に通産省の指導により、高圧ガスの移動に係る災害の発生、又は拡大の防止に資することを目的として、各県毎に高圧ガス地域防災協議会を設立し、県内における地域防災体制の確立が図られている。

防災意識の高揚及び地域防災体制の確立を図っていくためにも、同協議会が行う事業に対し継続して補助を行い、事故防止及び拡大抑止に努める必要がある。

## (2) 事業内容

岐阜県高圧ガス地域防災協議会では、地域移動防災活動に万全を期すため、輸送業者、L P ガス製造・販売業者及び一般高圧ガス製造・販売業者を会員として、高圧ガスに係る防災活動が迅速、的確に処理できるよう、地域ごとに防災事業所を指定し、移動防災訓練を毎年実施している。

(3) 県負担・補助率の考え方

定額

(4) 類似事業の有無

なし

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	100	
合計	100	

#### 決定額の考え方

# 県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## (事業内容)

補助事業名	県高圧ガス地域防災協議会補助金
補助事業者（団体）	県高圧ガス地域防災協議会 (理由) 協議会の継続的な活動に必要
補助事業の概要	(目的) 高圧ガスの移動に係る災害の発生、拡大防止 (内容) 関連業者を集め、移動防災訓練を実施
補助率・補助単価等	定額 (内容) (理由)
補助効果	災害時に迅速に対処できる人材の育成
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 単独補助金共通ルールとしての5年見直し

## (事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 高圧ガスを取り扱う仕事に従事する者に対し、防災訓練を実施することは高圧ガスによる災害の発生防止や万が一発生した災害の被害拡大防止を図るために大変重要である。このため、災害時に対応できる人材を育成するため、毎年防災訓練を実施する。
---

## (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (S56年度末)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①保安啓発活動の実施	未実施	開催	開催	開催	開催	0%

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度 0千円	R4年度 100千円	R5年度 100千円	R6年度 0千円
--------------------	-------------	---------------	---------------	-------------

## (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	移動防災訓練を実施し、万が一発生した高圧ガスの移動に係る災害の発生、拡大防止を図った。 指標① 目標：開催 実績：開催 達成率：100%
令和5年度	移動防災訓練を実施し、万が一発生した高圧ガスの移動に係る災害の発生、拡大防止を図った。 指標① 目標：開催 実績：開催 達成率：100%
令和6年度	大雨のため移動防災訓練の開催を中止することとした。 指標① 目標：開催 実績：開催中止 達成率：0%

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	高圧ガスによる災害の発生防止、被害拡大防止の観点から、訓練の重要性は高く、県が支援していくことは妥当である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 3	毎年、訓練未経験者が参加することから、人材育成の場として有効である。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県内全域の事業所から参加するため、県内の高圧ガス従事者が可能な限り多く参加できるよう日時、場所を選定し、効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県全域の高圧ガスを取り扱う事業所を対象としているが、日頃の仕事を休んで参加することになるため、人員を割くことが困難な小規模事業所の参加の確保が課題である。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 高圧ガスを取り扱う業務に従事する者に対し、防災訓練を実施することは、高圧ガスによる災害発生防止や、万が一発生した災害の被害拡大防止に大きく寄与しており、県がその活動を引き続き支援していく。
--